

第 26 回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム
共同コミュニケ

2017 年 8 月 23 日、24 日の二日間にわたり、日本国新潟市において、「第 26 回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム」が開催された。

日ロ沿岸市長会から、

秋田市産業振興部長	本 間	斗
男鹿市副市長	笠 井	潤
由利本荘市副市長	小 野	一 彦
酒田市副市長	矢 口	明 子
新潟市長	篠 田	昭
長岡市副市長	高 見	真 二
三条市営業戦略室長	恋 塚	忠 男
燕市長	鈴 木	力
上越市副市長	土 橋	均
佐渡市長	三 浦	基 裕
富山市政策監	柳 原	聡 子
高岡市産業振興部長	福 田	直 之
射水市産業経済部長	杉 浦	実
金沢市都市政策局長	平 嶋	正 実
七尾市副市長	岡 野	崇
敦賀市長	渕 上	隆 信
舞鶴市長	多々見	良 三

が、

ロ日極東シベリア友好協会から、

ビロビジャン市長	コロステリョフ E.V.
ブラーツク市長	セレブレンニコフ S.V.
ウラジオストク市長職務代理	メジョーノフ K.A.
イルクーツク市長	ベルドニコフ D.V.
コムソモリスク・ナ・アムーレ市第一副市長	コルシコフ E.V.
マガダン市長	グリシャン Y.F.
ナホトカ市長	ゴレロフ A.E.
ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市長	イヴァネンコ V.Y.
ハバロフスク市長	ソコロフ A.N.
ヤクーツク市副市長	エフレモフ P.S.

が参加した。

友好的、実務的協力の雰囲気で行われた会議・フォーラムでは、「日本海沿岸地域とロシア極東シベリア地域とのビジネスチャンス拡大について」、「両地域諸都市における双方向（インバウンド・アウトバウンド）の観光交流促進に向けた方策」をテーマに、経済・観光関係者の参加を得て、具体的な議論を深めることができたことを会議参加者は高く評価した。

会議で両者は、活発な日ロ首脳会談が続く中で2016年5月に安倍総理が提示した8項目の協力プランを高く評価し、その具体化がさらに進展することに強い期待を表明した。また、地域間交流がこの協力プランの実現の重要な推進力であるという認識で一致した。

双方は、地域間で幅広く情報共有をはかりながら、農業、医療、中小企業、文化などの各分野における互いの強みを生かし、両地域の相互補完関係の発展に努めることで合意した。

エネルギー協力について、日本とロシアにおける互恵的な主要プロジェクトの一つであり、エネルギーに関する両国間の投資・貿易量のさらなる拡大が、とりわけ当会議出席都市の港湾機能の強化と拠点性の向上につながり、両地域の経済の活性化において重要な意味を持つことを指摘した。

両者は、地域間のあらゆる分野における交流推進と強固な協力関係の構築には、航路及び航空路の安定運航が不可欠であり、貿易と旅客の量的拡大に向けた共通の課題を認識し、互いの鉄道網や幹線道路網を活用し、経済的な需要を考慮して活性化策を検討することとした。

とりわけ、貿易の拡大に向けては、各都市に集積する製造業、農業、サービス業などを活かしたビジネス・マッチングを進める必要があることを確認するとともに、新たな貿易品目の発掘に取り組み、両地域の物流インフラを最大限活用していく方針で一致した。

さらに、旅客の拡大に向けては、インバウンド振興とともに、青少年交流や市民の相互理解を促進することで、アウトバウンド振興策が重要であるとの認識で一致した。

本年1月1日から制度変更となった査証要件の緩和を評価するとともに、さらなる手続きの簡略化を、双方の政府に働きかけることとした。

双方向の観光交流の振興にむけては、食品、伝統芸能、工芸品、観光資源など各都市の魅力を本会議のネットワークも活用して情報発信に努めることで合意した。また、クルーズ船誘致や、フェリー航路の開設などに向けて、船社や航空会社、旅行社などの関係機関への働きかけを互いに強化することとした。

両者は、真の相互理解に基づく友好的、平和的両国関係樹立のため、地域間の協力をさらに発展させることが重要であることを強調し、両国間の未解決の問題が解決され、平和条約が早期に締結されることへの期待を表明した。相互理解の更なる促進のため、両首脳により決定された2018年の「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」が両国各地で開催され文化・人的交流が活発に実施されることを歓迎した。

会議参加者は、9月にウラジオストクで開催される「第3回東方経済フォーラム」で安倍総理・プーチン大統領の日ロ首脳会談に向けて、本会議の成果を双方の政府に伝え、日ロ両国及び両地域間の良好な関係をさらに発展させることを確認した。

両者は、本会議が有益かつ必要であることを認め、第27回会議を2019年にロシア国ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市で開催することに同意した。

本コミュニケは2017年8月24日、それぞれ日本語とロシア語で2部署名され、等しい効力を持つ。

日ロ沿岸市長会代表幹事
新潟市長



篠田 昭

ロ日極東シベリア友好協会会長
ハバロフスク市長



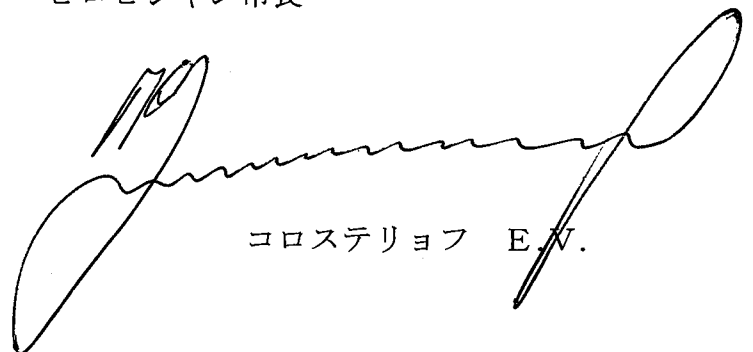
ソコロフ A.N.

秋田市産業振興部長



本間 斗

ビロビジャン市長



コロステリョフ E.V.

男鹿市副市長

笠井 潤

笠井 潤

ブラーツク市長



セレブレンニコフ S.V.

由利本荘市副市長

小野 一彦

小野 一彦

ウラジオストク市長職務代理



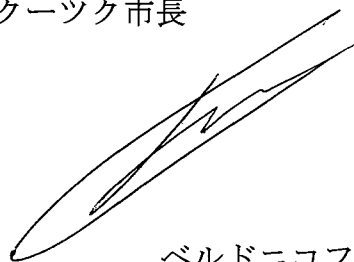
メジョーノフ K.A.

酒田市副市長

矢口 明子

矢口 明子

イルクーツク市長



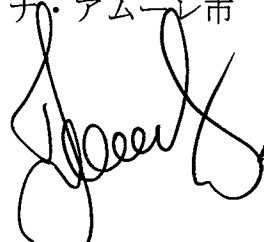
ベルドニコフ D.V.

長岡市長

代理 磯田 達伸

磯田 達伸

コムソモリスク・ナ・アムール市
第一副市長



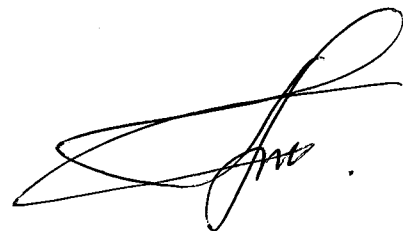
コルシコフ E.V.

三条市営業戦略室長

恋塚 忠男

恋塚 忠男

マガダン市長



グリシヤン Y.F.

燕市長

鈴木 力

鈴木 力

ナホトカ市長



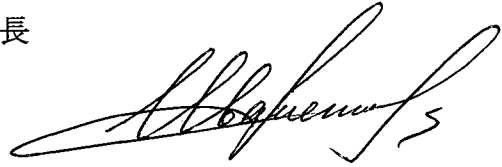
ゴレロフ A.E.

上越市副市長

土橋 均

土橋 均

ペトロパヴロフスク・カムチャツキー
市長



イヴァネンコ V.Y.

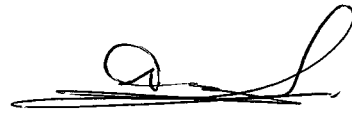
佐渡市長

代理

三浦 基裕

三浦 基裕

ヤクーツク市副市長



エフレモフ P.S.

富山市政策監

柳原 聡子

柳原 聡子

高岡市産業振興部長

福田 直之

福田 直之

射水市産業經濟部長

杉浦 実

杉浦 実

金沢市都市政策局長

平嶋 正実

平嶋 正実

七尾市副市長

岡野 崇

岡野 崇

敦賀市長

渕上 隆信

渕上 隆信

舞鶴市長

多々見 良三

多々見 良三